

定例会の報告

茨木市議会報告会（平成25年11月13日）

●平成25年度 予算について

●待機児童解消について

●高齢者施策の検討について

●立命館大学に関する周辺整備について

平成25年度 予算について

3月定例会で議決した当初予算

会計名	25年度 予算額(円)	前年度との比較	
		増減額(円)	増減率 (%)
一般会計	814億5,000万	42億2,733万	5.5
特別会計			
財産区会計	55億3,204万	▲5,855万	▲1.0
国民健康保険事業会計	288億997万	9億1,276万	3.3
後期高齢者医療事業会計	30億4,881万	1億3,798万	4.7
介護保険事業会計	139億1,758万	9億4,018万	7.2
公共下水道事業会計	82億7,100万	1億279万	1.3
水道事業会計	81億8,058万	8,098万	1.0

茨木市の平成25年度一般会計当初予算は

814億 5,000万円 です。

- **学校の耐震化**
14億7,017万円（うち市負担11億7,638万円）
- **立命館大学関連事業**
5億2,310万円（うち市負担3億4,260万円）
- **（仮称）JR総持寺駅整備関連事業**
1億2,500万円（うち市負担6,250万円）
- **子ども医療費助成額の増額**
1億5,487万円（全額市負担）

など市民生活に関わるさまざまな施策が盛り込まれています。

9月定例会で提案された補正予算

- **待機児童保育室の整備**
1億1,550万円(うち市負担5,568万4,000円)
- **JR茨木駅東口駅前広場の整備**
2億8,400万円(うち市負担1,490万円)
- **小学校のエレベーター設置(三島、中津、太田、白川)**
1億376万円(うち市負担1,846万2,000円)

など

9月定例会で提案された補正予算

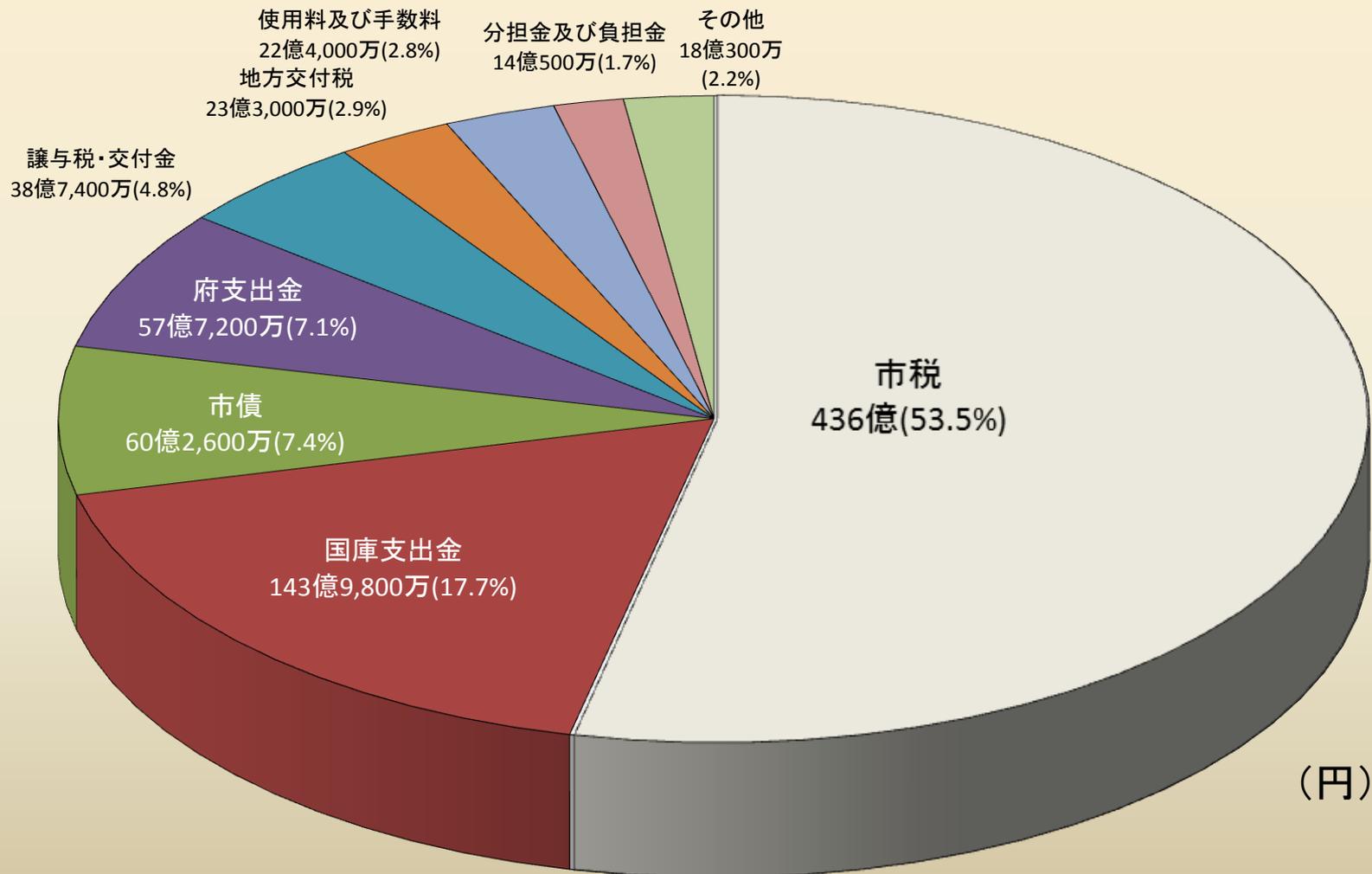
	予算額
国庫支出金	2億3,372万4,000円
府支出金	4,309万8,000円
寄附金	30万円
繰越金	3億1,055万3,000円
諸収入	5,000万円
市債	2億3,500万円
補正額	8億7,267万5,000円

補正後の一般会計予算額は

823億 2,200万円 です。

歳入

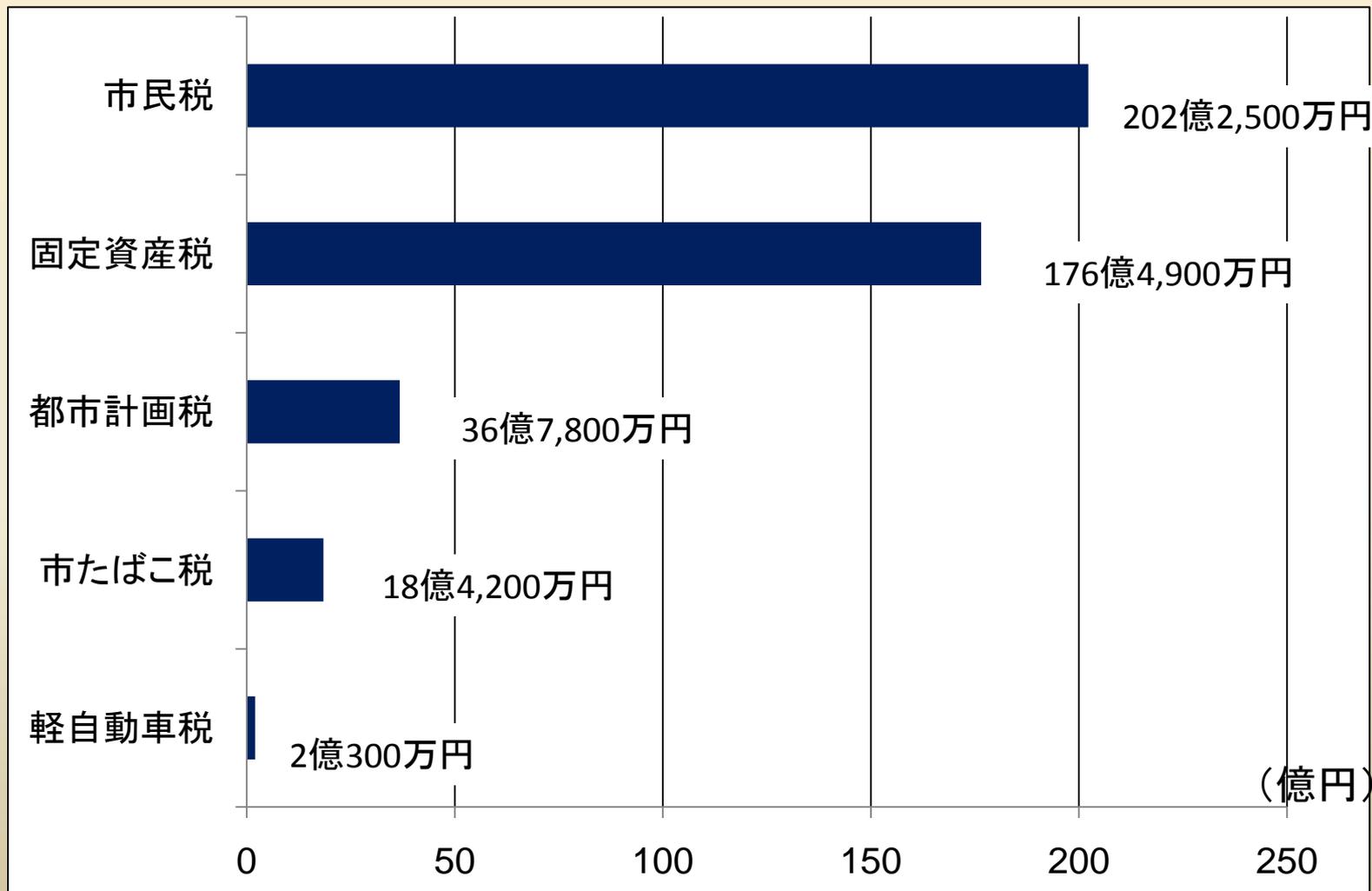
市の収入の約半分は市税です。



歳入

市の収入の約半分は市税です。

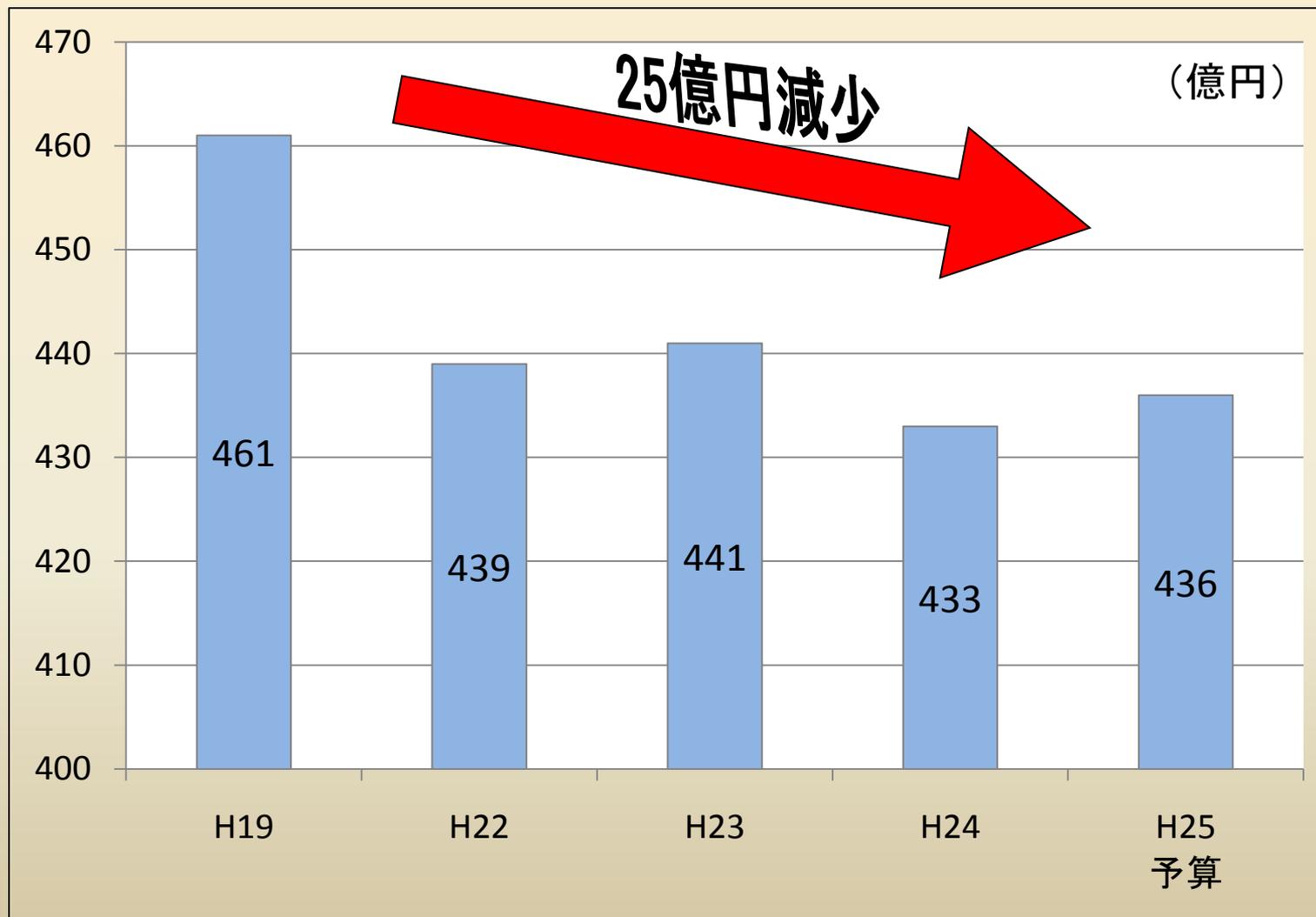
【市税収入の内訳】



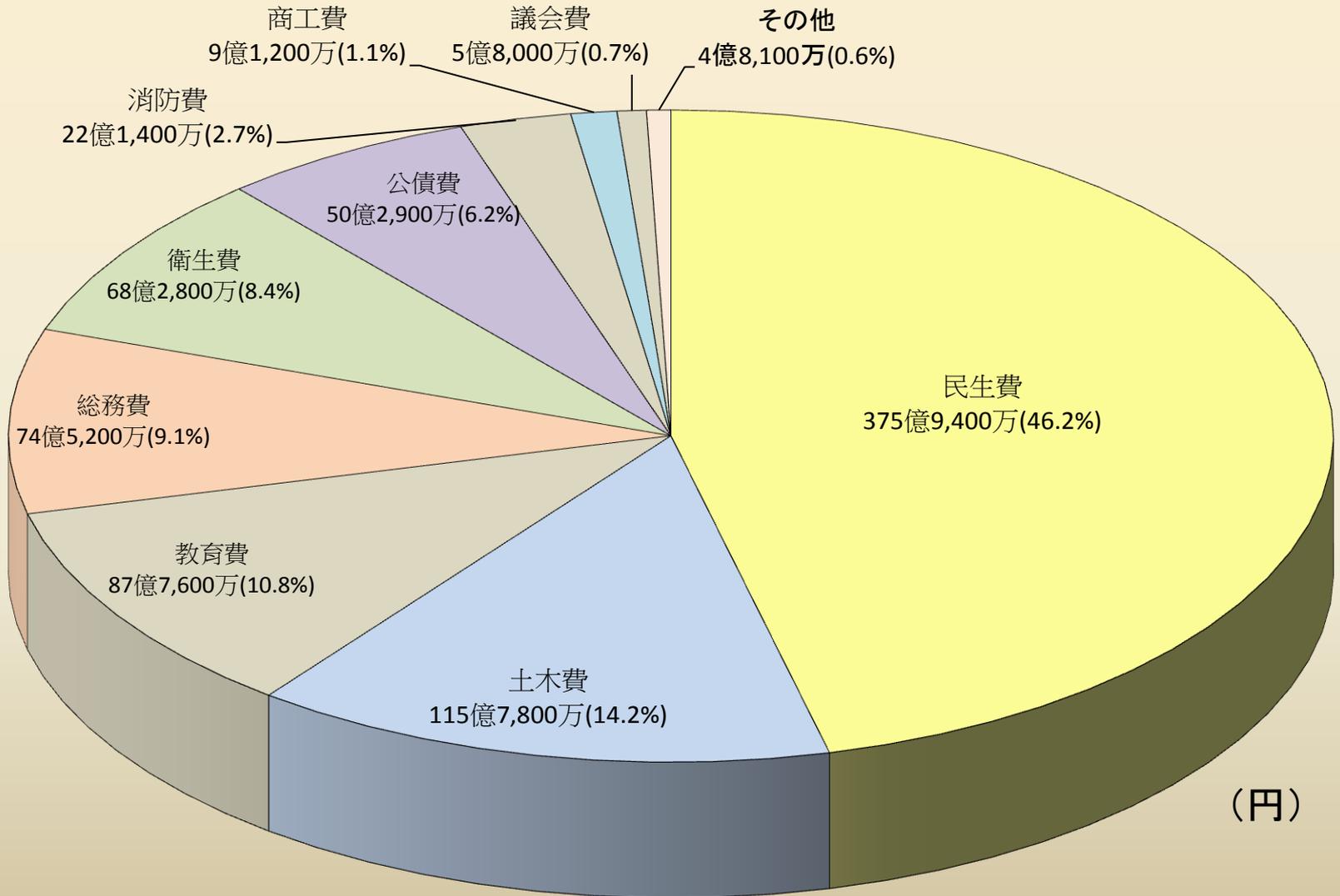
歳入

市の収入の約半分は市税です。

【市税収入の推移】



歳出



(円)

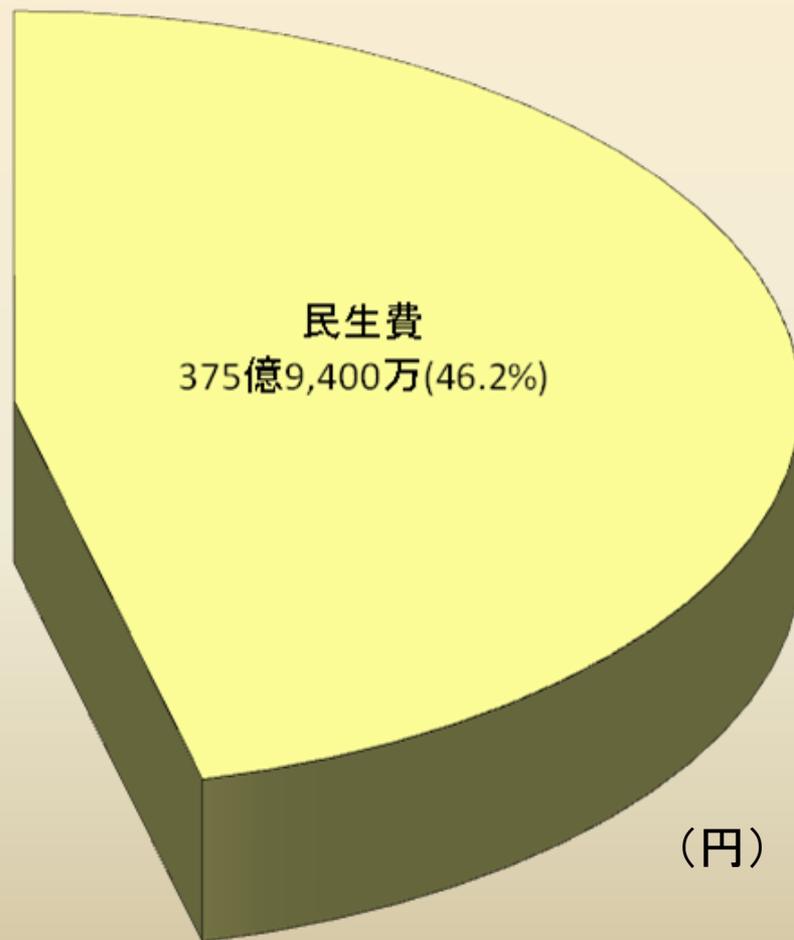
歳 出

支出の約半分は民生費です。

民生費とは、
福祉に使われる費用。

- ★高齢者施策
- ★子ども・子育て支援施策
- ★障がい者施策
- ★医療費関連
- ★生活保護費

など。



(円)

ところで…

茨木市の借金残高はいくら？

- 市税収入や国・府の補助金だけでは、支出をまかなえない。
- 公共施設などは、建設年度だけでなく、将来世代にも負担を担ってもらう。

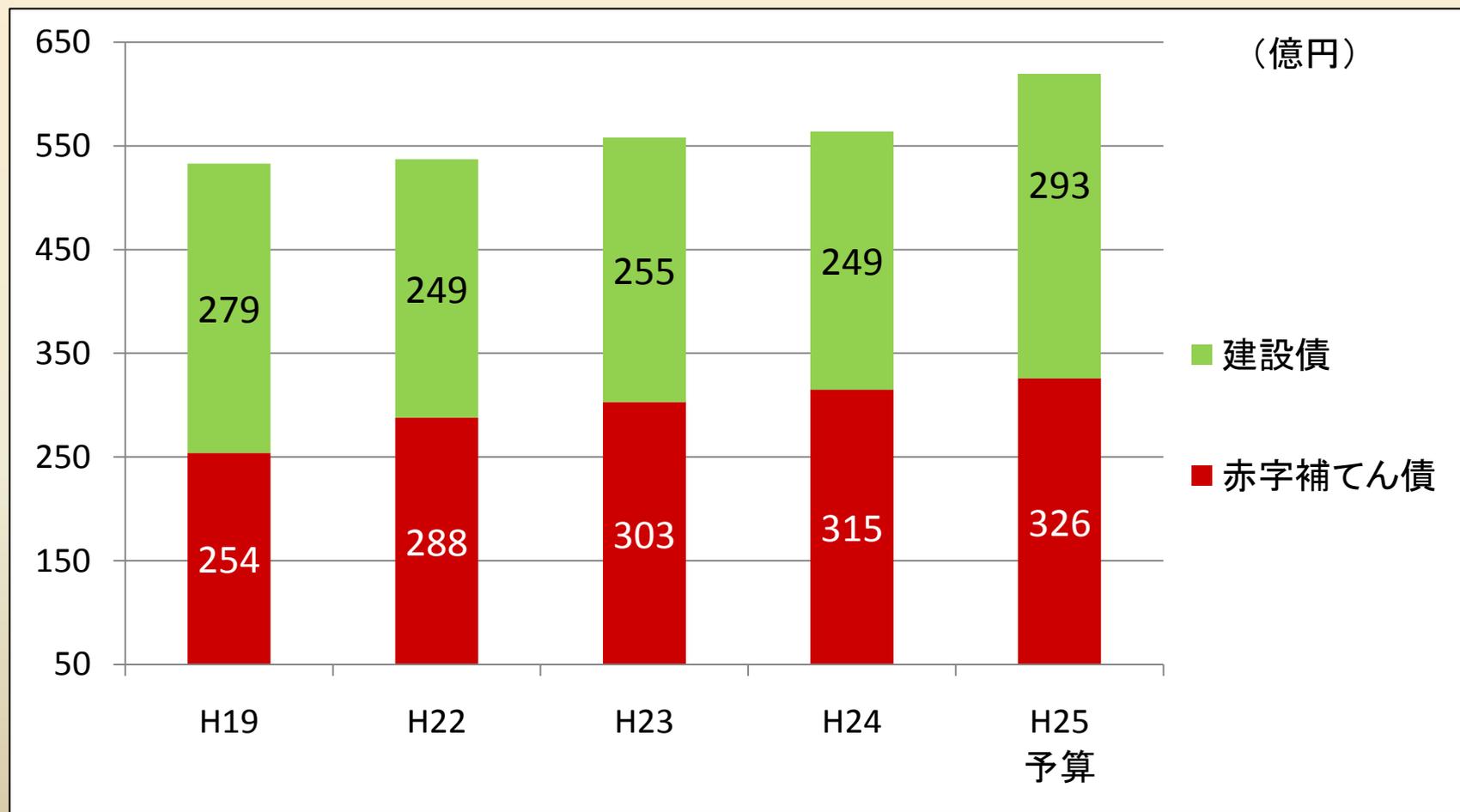


借金である市債を発行。

平成25年度一般会計予算では、建設債29億円、赤字補てん債32億円、合計61億円の市債を発行。

ところで...

茨木市の借金残高はいくら？



平成25年度予算について

【おもな質疑】

- 大型プロジェクトの事業費総額、市債発行額について。
- 市債残高の今後10年間の推移について。
- 起債償還のピークは。

待機児童解消について

待機児童の解消

市長からの提案内容

- 新たな保育所の建設を支援、既存保育所の増築や定員増を図るとともに、認可外保育施設の運営を支援。

【25年度当初予算】

- 保育所建設補助 **5億7,295万円**

増築：山水学園の建替(150人→160人に)

新設：南茨木駅前(70人)、玉櫛府宮住宅跡地(80人)

- 認可外保育施設運営支援 **6,972万円**

※認可外保育施設運営支援とは...

待機中の期間に認可外保育施設を利用する場合、保育料を支援する制度。

待機の優先順位が高い人から利用でき、保育料は年齢に関わらず、月額31,500円。

＜実施施設＞

第2保育園なないろ(横江)・第2保育園なないろ真砂園(真砂)・

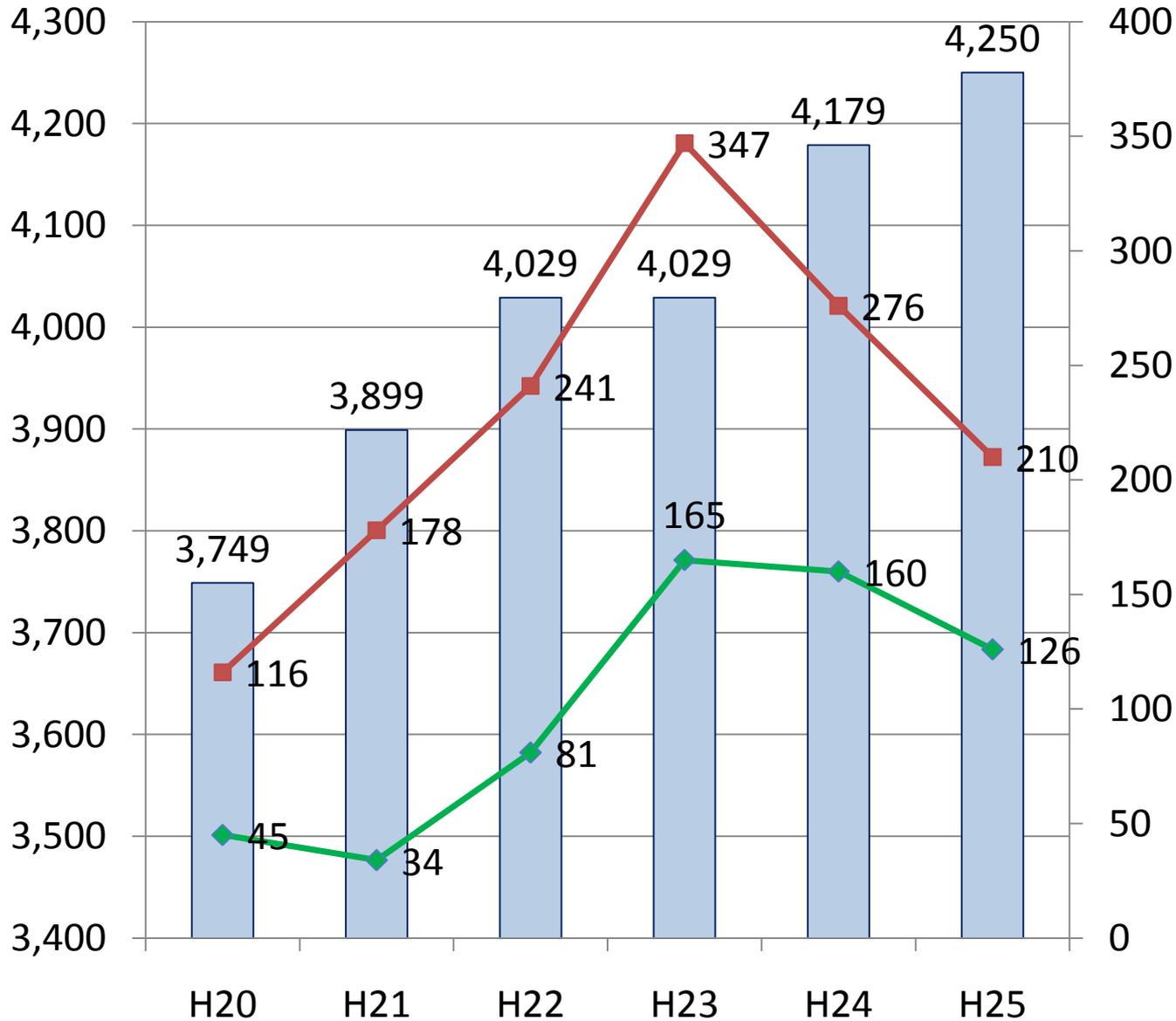
きずな保育園(竹橋町)・保育所さうだいで(真砂)・マリモ保育園(東太田)

待機児童の解消

【保育所の定員数と
待機児童の推移】

待機児童数(人)

定員数
4月1日現在



定員数(人)

待機児童の解消

これまでの待機児童解消対策

- ① 私立保育園の新設・増設
- ② 定員の見直しや弾力化

議会での議論

- ①②の対策以外に
- 幼稚園や認可外保育施設の活用
 - 保育ママの活用

待機児童の解消

茨木市待機児童解消方針(24年8月策定)

※25年度から年次計画で、私立保育園の新設・増設

整備内容	定員(増員)	開設(予定)年月
Due南茨木ちとせ保育園<南茨木駅前>	70人	平成25年10月
花たちばな保育園<東幼稚園転用新設>	130人	平成25年10月
(仮)茨木山水学園<既存施設建替>(平成26年4月増員)	10人	平成26年2月
(仮)たんぽぽ△保育園<玉櫛府営住宅跡地>	80人	平成26年4月
東ブロック新設	90人	平成27年4月
合 計	380人	

※29年度まで生じる待機児童には、待機中に認可外保育施設を利用できる制度を活用。

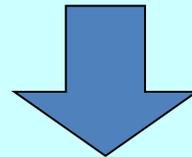
待機児童の解消

【おもな質疑】

- 待機児童解消のため、緊急的に、こども園化や幼稚園の保育所への転用についても考えるべきではないか。
- 25年度4月の待機児童の予測と実際の差はどうか。予測よりも増えているのならば、市の既存施設を使って、何らかの方策を考えなければならないのではないか。

待機児童の解消

- ①第5次総合計画の基礎となる人口フレームが示され、
就学前児童数の推計値の修正
- ②保育需要率の見込みが増加



茨木市待機児童解消方針の改定(25年7月)

待機児童の解消

9月定例会に提案された内容

- 茨木市待機児童保育室条例の制定について(議案第68号)
待機児童の解消を図るため、「待機児童保育室」を開設するための
条例の制定

【主な内容】

- ①名称及び位置 茨木市待機児童保育室 あゆみ
茨木市学園町2番1号(旧学園町分室)
- ②対象児童 認可保育所への入所を待機している児童で、かつ、入所
申込の際に2以上の希望する保育所を記載している児童
- ③定員 90人
- ④保育料 月額31,500円(第2子目以降の軽減等に関する規定あり)
延長保育料
ア 午前7時から午前7時30分まで 日額300円 月額2,500円
イ 午後6時30分から午後7時まで 日額300円 月額2,500円
主食費用 月額1,000円(3歳以上)

待機児童の解消



旧環境事業課 学園町分室

待機児童の解消

9月定例会に提案された内容

- 認可外保育施設の整備について

保育ニーズの高いJR茨木駅周辺に開設する認可外保育施設に対し、運営補助を行う。

(平成25年10月開設予定)施設名:(仮称)マリモ・スリー保育園

→ マリモ・スリー保育園 25年10月1日開設

【9月定例会補正予算】

●待機児童保育室整備 1億1,550万円
(うち市負担 5,568万4千円)

●認可外保育施設の運営支援 820万円

待機児童の解消

【おもな質疑】

- 待機児童保育室の施設基準、保育内容、職員配置はどうなるのか。
- 待機児童保育室の保育料は、一律月額31,500円だが、階層や年齢別など細分化をしてはどうか。
- 保育需要率の予測が甘いのではないか。

高齢者施策の検討について

高齢者施策の検討

市長からの提案内容

- 学識経験者や市民代表で組織する審議会を設置し、老人福祉センターの方向性を含め、施策のあり方を総合的に検討。

【25年度当初予算】

● 審議会設置

160万円

高齢者施策の検討

茨木市の高齢者施策の経過

- **老人福祉センターの運営**（予算：1億2,000万円）
 - ①福井荘（昭和48年）
 - ②桑田荘（昭和55年）
 - ③西河原荘（平成元年）
 - ④葦原荘（平成6年）
 - ⑤沢池荘（平成9年）
 - ⑥南茨木荘（平成16年）
- **シルバー人材センターへの補助**（予算：4,000万円）
- **街かどデイハウスへの補助**（予算：6,000万円）

おおむね65歳以上の市民で、要介護認定を受けていない方、介護保険で非該当と認定された方などを対象とする通所施設
- **老人クラブ助成事業**（予算：2,300万円）
- **茨木シニアカレッジ いこいこ未来塾の開催**（予算：600万円）

などをはじめとするさまざまな施策が実施されています。

高齢者施策の検討

審議会設置の目的

- 超高齢社会を迎えるにあたり、効率的、総合的に高齢者施策を実施することが求められていること。
- 国が作成した高齢社会白書において、人生65年時代から人生90年時代への制度改革が求められていること。



高齢者の働き方や社会参加、生きがい、地域におけるコミュニティや生活環境のあり方を反映、対応できる施策体系に転換する必要が生じてきた。



高齢者の実態や課題を踏まえ、施策を総合的に再構築するため、審議会を設置。

高齢者施策の検討

【おもな質疑】

- 審議会を設置して検討するに至った理由と、具体的な検討内容について。
- 街かどデイハウスについて、現在の中学校区ごとの整備だけではなく、小学校区ごとへの整備に関する考えは。
- 老人福祉センターの課題と今後の方向性について。

立命館大学進出に関する議論 概要報告



防災公園側(東北)より見た完成予想図

本年3月の施政方針において

立命館大学進出に関連して、

- JR茨木駅等からのアクセス整備を進め、駅周辺の賑わいにつなげる。
- 地域の防災拠点となる岩倉公園の整備、市民開放施設建設支援、JR茨木駅前の再整備

と述べられました。

平成25年度一般会計当初予算では

●立命館大学開学に向けた周辺整備(駅前広場、歩道、区画道路)	5億2,310万円
●立命館大学交響楽団茨木公演の実施	150万円
●駅前周辺整備基金の創設	4億円
●JR茨木駅西口駅前広場整備検討調査	800万円
●茨木松ヶ本線整備	8億6,542万円
●西中条奈良線整備	5億3,150万円
●岩倉公園防災公園街区整備	5億9,732万円

平成24年度一般会計補正予算において

●不動産(土地)取得	26億7,438万円
------------	------------

これまでの議論の大まかな分類

1. 立命館大学進出と大阪いばらき新キャンパス建設そのものに関する事。
2. JR茨木駅等からのアクセスや駅舎、東西駅前広場の再整備などのハードの整備に関する事。
3. 産官学民の協働による茨木市の活性化や市民開放施設の利用などに関する事。

25年3月定例会 代表質問

- 立命館大学への市の支援、共同事業実施、共同利用施設運営に関するの方策
- 立命館大学との夢あふれる協働の内容
- 支援等に関する投資的関連経費、一般財源の市負担分の見通し
- JR茨木駅、阪急南茨木駅、モノレール宇野辺駅からのアクセス整備
- JR茨木駅ホームの延伸や新しい改札口の設置
- 立命館開学に当たっての経済効果や市内団体との連携、その仕掛けづくり

25年3月定例会 一般会計予算質疑

- JR茨木東口・西口の現状認識と今後の展望。さらに西口再整備の基本構想の調査実施状況、そのスケジュール
- 喫緊の課題である西口バスターミナルとのアクセスやバリアフリー化
- 西口デッキに接続しているマンション住民やエキスポロード沿いの店舗、近隣自治会などとの協議
- 再整備におけるプランナーなど専門家の活用
- 立命館学生が茨木市内にとどまるような策を、学生も交えたプロジェクトチームをつくっての対応
- 大学内部の動向についての市の認識と見解
- 支援方策の具体化における施設整備を含む事業費総額と市の負担額、その財源状況、各事業の進捗状況、周辺都市計画道路の事業費市負担額と進捗状況

- 市街地整備施設負担金の市負担分30億円の根拠
- 市民開放施設の市民利用についての協議進捗状況と
駅舎改造計画についてのJR西日本との協議状況
- 駅前通りと茨木鮎川線の一方通行化による大胆な街
づくりの検討
- JR西口の乱横断の実態把握
- 大学への学生の流れの分散のためのJRへの要請内
容と利用人数の増加に合わせた時間帯対応
- 三菱東京UFJ銀行前の信号との連動で歩行者用信号
機の設置の協議
- 茨木郵便局前の歩道橋を横断歩道に

などの質疑が行われました。

6月定例会に提案された内容 1

●不動産(土地)取得について (立命館大学市民開放施設)

市民開放施設用地を都市再生機構から取得する議案
(議案第58号)

- 取得の金額 26億7,437万5,000円
- 取得予定日 平成25年6月28日(→その後、同日付で
取得済み)
- 取得の物件

所在地	茨木市岩倉町1番2
地目	宅地
面積	15,000m ²

6月定例会に提案された内容 2

●財産(土地)の無償貸付について (立命館大学市民開放施設)

取得した土地を立命館へ無償貸付する議案(議案第59号)

○ 地方自治法第96条第1項第6号に基づき、学校法人立命館へ土地を無償で貸し付ける。

・所在地 茨木市岩倉町1番2

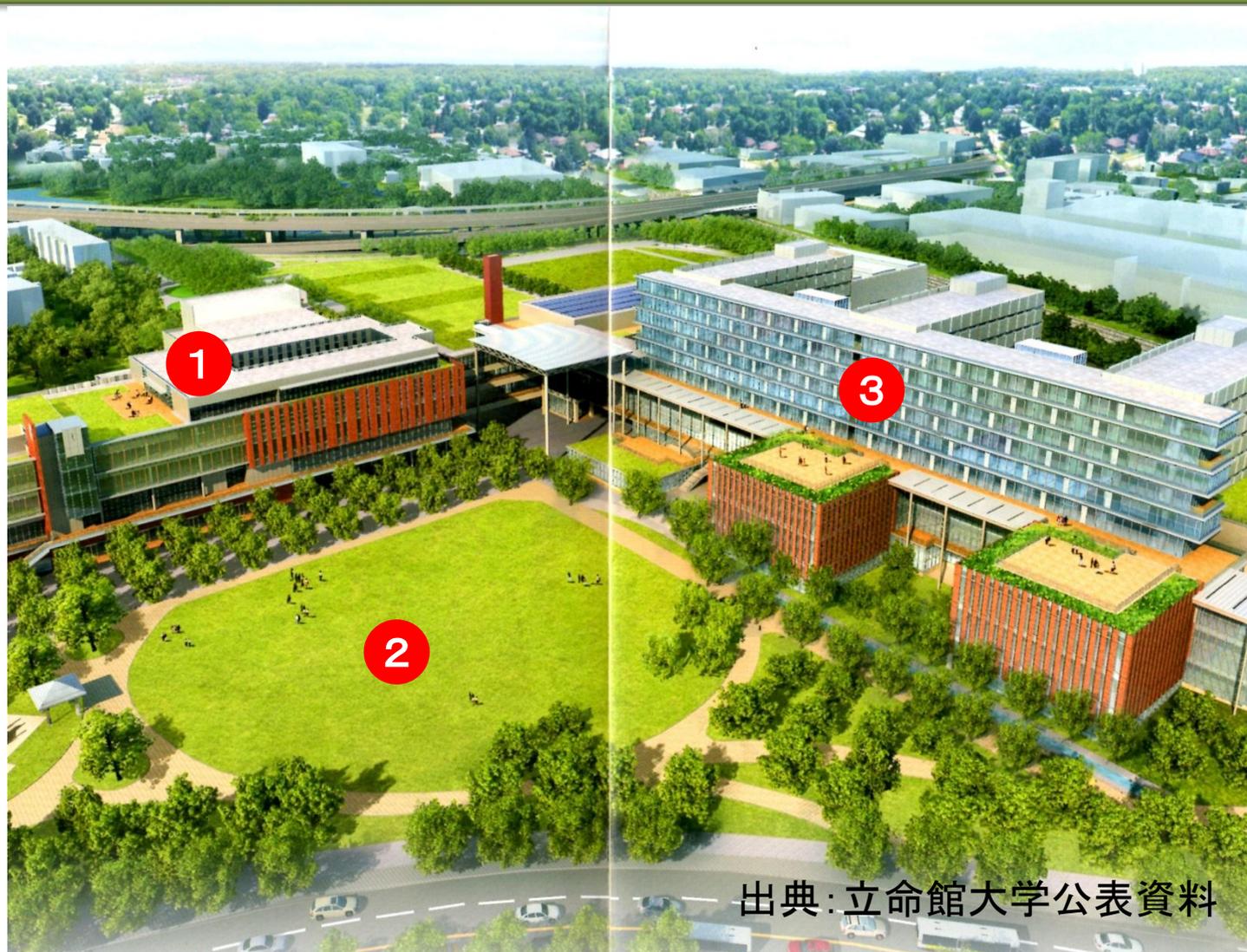
・貸付財産 不動産:土地 地目:宅地 面積:15,000㎡

・貸付日 平成25年7月1日(→その後、同日付で貸付済み)

・相手方 京都市中京区西ノ京柁尾町1番地の7

学校法人立命館 理事長 長田 豊臣

市民開放施設と岩倉町防災公園の完成予想図



出典：立命館大学公表資料

25年6月定例会 議案第58号、59号に対する質疑

- 立命館大学がサッポロビールから取得した土地の面積、価格
- 当時の大学の常務理事の取得価格についての発言の確認について
- 大学の取得価格と都市再生機構の取得価格の差が20億円あり、利益を得たのではないかという疑問に対し大学、茨木市の説明義務
- 茨木市が都市再生機構から取得した市民開放施設用地と防災公園用地との差と、直近の市道西中条奈良線道路用地の平米当たりの取得価格

- 無償貸付の契約書案の主な条文と内容及び目的への担保の明記
- 無償貸付の期間
- この議決に地方自治法第96条議決要件を活用する理由
- 無償貸付がふさわしいと判断した市民サービスの内容
- 施設の建設とランニングコスト、この土地の価格、無償で60年にわたって貸すことの比較の根拠
- リスク管理を考えた上での60年なのか

などの質疑が行われました。

25年6月定例会 一般質問

- 大型プロジェクト事業の本年度以降の事業費総額、財源とする市債発行額、償還額、償還時期の見込み
- 複数の大型プロジェクトを動線で結び、民間等の活力を促し、参入しやすい環境を構築することは重要であるが想定している動線や効果
- JR茨木東口駅前広場はどのように変わるのか
- 駅改札の中についての対策

- 万博公園内に整備予定のガンバスタジアム、アウトレットモール、立命館を市の発展に生かす方策
- 歴史的視点である21世紀のデザインビジョンについて市の考え方
- 茨木市とJRのエスカレーター設置協議、内容、時期、費用負担
- 立命館大学施設全体の建築確認申請が提出される時期
- 社会資本総合整備計画の1回目の提出時期は、今後は計画協議段階でも答弁するべきでは
- 間接補助の防災公園と直接補助の本計画による事業費別の茨木市の経費負担内容

などの質疑が行われました。

9月定例会では関連議案として

●工事請負契約締結について

(JR茨木駅東口駅前広場整備工事)

これはJR東口駅前広場1階部分の工事請負契約で
(2階デッキ部分の工事は12月議会で議案提出予定)

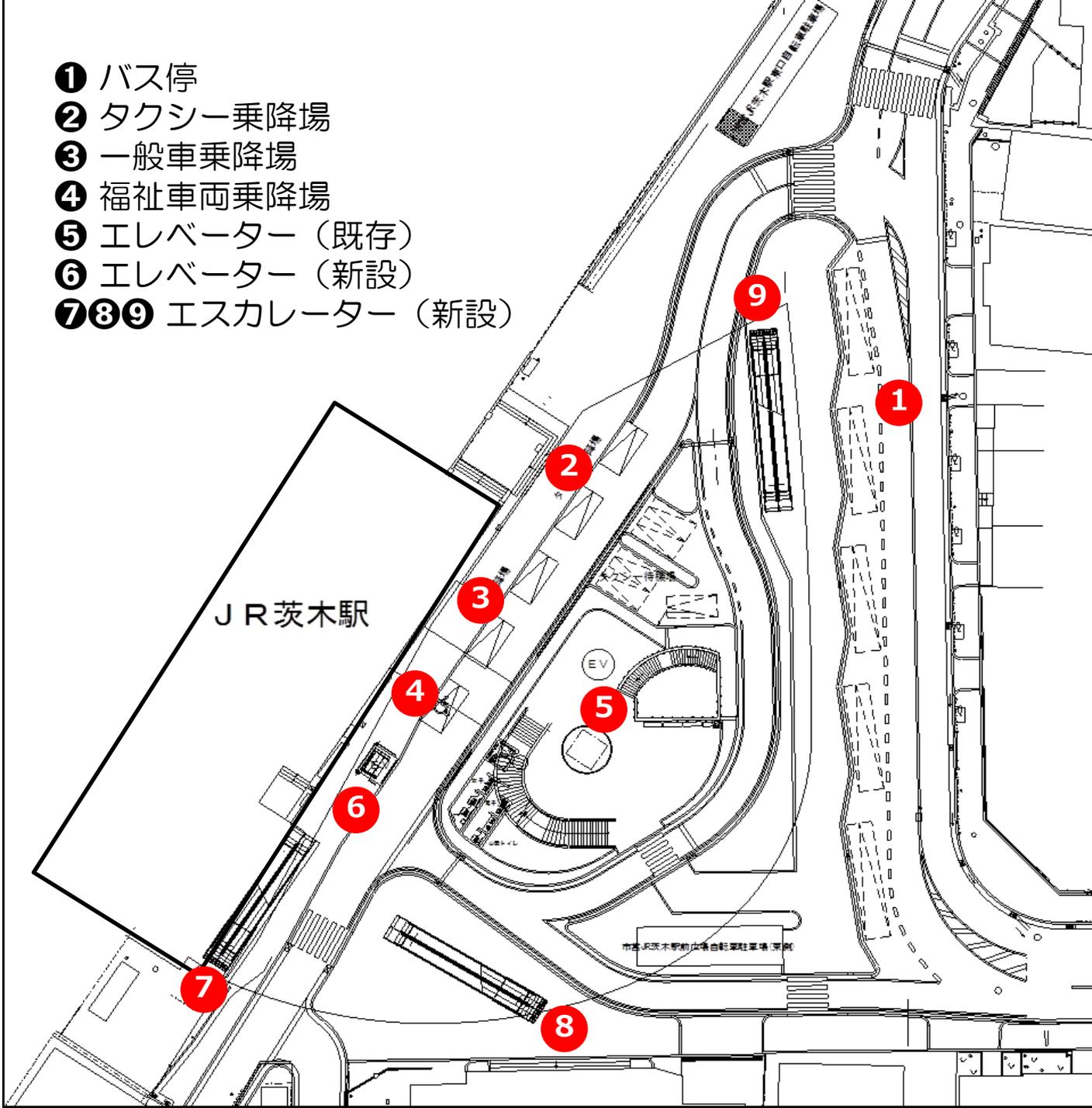
その主な内容は

- 契約の方法 一般競争入札
- 契約の金額 4億2,617万9,250円
- 工事完了予定日 平成27年3月13日

なお、この議案は全会一致で議決されました。

今回の工事配置図(平面図)

- ① バス停
- ② タクシー乗降場
- ③ 一般車乗降場
- ④ 福祉車両乗降場
- ⑤ エレベーター (既存)
- ⑥ エレベーター (新設)
- ⑦⑧⑨ エスカレーター (新設)



ご清聴、ありがとうございました。

